

施設の紹介

地球研では、いわゆる地球環境問題の根源を、ことばの最も広い意味における人間の「文化」の問題であるという基本認識をもっています。そして複雑な人間という存在と自然との多様な関係の解明を目指して、いわゆる理系・文系など既成の分野を超えた真の総合的な学問の基盤形成を目指しています。そのためには、そこに集うスタッフが絶え間なく議論を繰り返す、互いに切磋琢磨できる環境の整備が肝要であると考え、この施設の設計の第一におけるコンセプトとなっています。

地球研施設にある研究室は、なだらかに弧を描いた全長150mの大空間にすべての研究プロジェクトが有機的な連携をもつような開放的プランとして設計されています。内部だけでなく外来のさまざまな研究者が相互に接触できる施設の共同利用性の機能を最優先するように配慮したものとなっています。研究プロジェクトごとの独自性にもとづく共同研究を可能にし、しかもそれらを相互に有機的につなぐ空間配置が特徴となっています。建物のほぼ中央には、多くの人が利用する図書室や情報処理室を配置するとともに、日常的な議論を行うために3つのサロンのような空間も準備されています。また、地階には、機能に応じた実験室がクラスター群として設置され、研究室と同様、共同利用における利便性と連携性を重視した設計となっています。

別棟になっている「地球研ハウス」は、宿泊を主として設備した施設です。ハウス入り口左手にあるアセンブリホールとダイニングサロンは、宿泊者に限ることなく地球研関係者が集う場所としてオープンに使えるようになっています。

地球環境を研究する機関にふさわしく、京都の景観と違和感のない瓦葺きの建物となっており、施工前にあった樹木もできるだけ活かして工事を行いました。採光や空調に関しても、環境へのインパクトを抑えるための最新の工夫がなされています。このような設計が高く評価され、これまでに、照明普及賞(優秀施設賞)、日本建築家協会優秀建築選、国際不動産見本市「MIPIM アジア」グリーン・ビルディング部門最優秀賞、2008年日本建築学会作品選奨などに選ばれています。



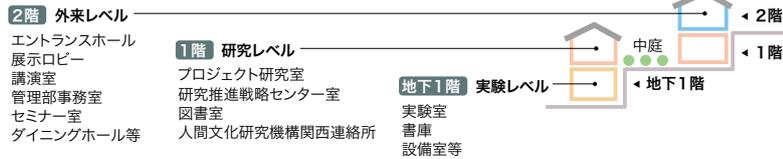
〈左〉本館の外観 風景ととけ込むように感じる落ち着いた外観です

〈上〉地球研ハウス 国内外の研究者の短期宿泊、長期滞在が可能です。ゲスト及びその家族と地球研スタッフの交流の場が設けられています

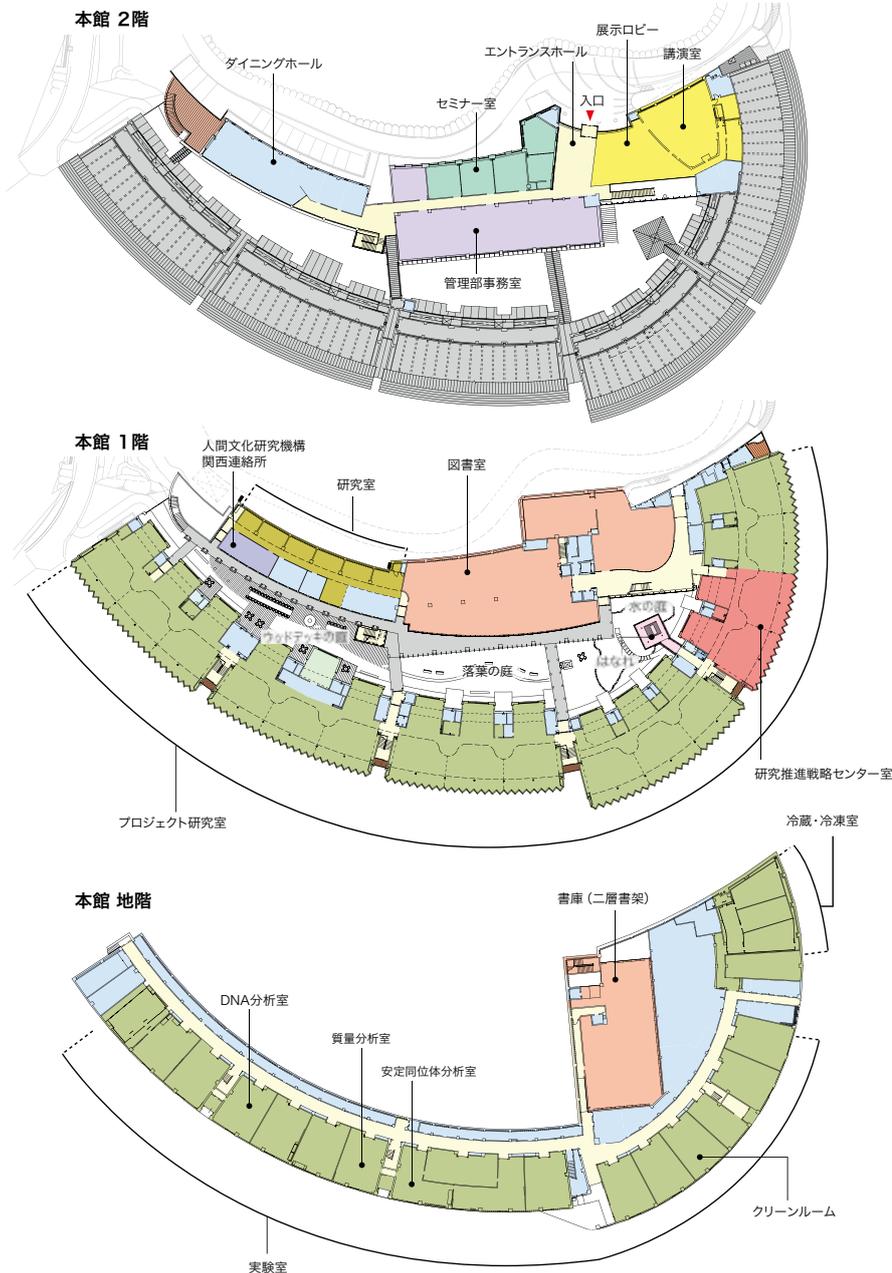
■施設の概要

敷地面積 3万1354.17m²
 建築面積 6256.68m²(本館:5609.59m²、地球研ハウス:647.09m²)
 延べ面積 1万3154.37m²(本館:1万2195.20m²、地球研ハウス:959.17m²)
 構造 本館:RC造一部S造、地球研ハウス:RC造
 階数 本館:地下1階 地上2階、地球研ハウス:地下1階 地上2階

■本館立面図



■本館平面図



〈写真上から〉

エントランスホールと展示ロビー 地球研の活動を紹介する展示をしています

中庭(ウッドデッキの庭)人と建物と自然が一体となって交流できる場所として、「水の庭」、「落葉の庭」、「ウッドデッキの庭」からなる中庭を設けています。中庭をはさんで、研究室や情報処理室などが集約しています

はなれ 「水の庭」に浮かぶように建てられた和風の談話室です。中央には掘りこたつ式のテーブルがあり、四方には簾(すだれ)がかかっています

実験室 多様かつ高度な実験に対応できるように設計されています。最先端の質量分析装置など、多くのプロジェクト研究を支援する環境が整備されています

組織

沿革

- 1995 (平成 7 年) 4 月 ● 「地球環境科学の推進について」(学術審議会建議)
「地球環境問題の解決を目指す総合的な共同研究を推進する中核的研究機関を設立することを検討する必要がある。」
- 7 月 ● 文部省、学術審議会建議を受け「地球環境科学の研究組織体制の在り方に関する調査研究会」を設置
- 1997 (平成 9 年) 3 月 ● 「地球環境科学に関する中核的研究機関のあり方に関する研究報告書」(地球環境科学の中核的研究機関に関する調査研究会)
- 6 月 ● 「地球環境保全に関する当面の取組」(地球環境保全に関する関係閣僚会議)
「幅広い学問分野の研究者が地球環境問題について、総合的に研究を行うことができるよう、地球環境科学の研究組織体制の整備に関する調査研究を行う。」
- 1998 (平成 10 年) 4 月 ● 地球環境科学研究所(仮称)の準備調査を開始
- 2000 (平成 12 年) 3 月 ● 地球環境科学研究所(仮称)準備調査委員会、人文・社会科学から自然科学にわたる学問分野を総合化し、国内外の大学、研究機関とネットワークを結び、総合的な研究プロジェクトを推進するための「総合地球環境学研究所(仮称)」の創設を提言
- 4 月 ● 総合地球環境学研究所(仮称)創設調査室を設置するとともに創設調査機関に創設調査委員会を設置
- 2001 (平成 13 年) 2 月 ● 「総合地球環境学研究所(仮称)の構想について」(最終報告)(創設調査委員会)
- 4 月 ● 総合地球環境学研究所の創設
国立学校設置法施行令の一部を改正する政令(平成 13 年政令第 151号)の施行に伴い、総合地球環境学研究所を創設し、京都大学構内において研究活動を開始。初代所長に日高敏隆が就任
- 2002 (平成 14 年) 4 月 ● 旧京都市立春日小学校(京都市上京区)へ移転
- 2004 (平成 16 年) 4 月 ● 大学共同利用機関の法人化に伴い、「大学共同利用機関法人 人間文化研究機構」に所属
- 2005 (平成 17 年) 12 月 ● 新施設(京都市北区上賀茂本山)竣工
- 2006 (平成 18 年) 2 月 ● 旧春日小学校より新施設(京都市北区上賀茂本山)へ移転
- 5 月 ● 総合地球環境学研究所施設竣工記念式典を実施
- 2007 (平成 19 年) 4 月 ● 立本成文が第二代所長に就任
- 5 月 ● 副所長を設置
- 10 月 ● 研究推進センターを研究推進戦略センターに改組



創設時の地球研(2001年4月~2002年3月)



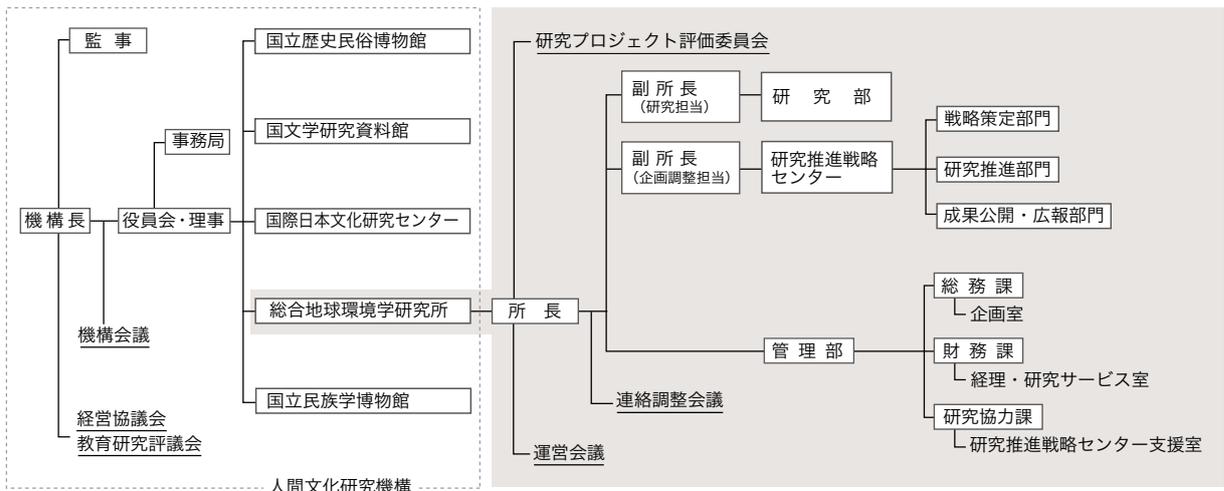
旧春日小学校時代の地球研(2002年4月~2006年1月)



現在の地球研 (2006年2月～)

組織図

(2009年4月1日現在)



財務・外部資金等

■ 財務セグメント情報 (2007年度)

業務費用

種別	金額 (千円)
業務費	2,172,191
共同利用・共同研究経費	1,130,294
教育研究支援経費	60,396
受託研究費	43,089
受託事業費	412
人件費	937,998
一般管理費	160,496
財務費用	76,862
費用計	2,409,551

業務損益

業務収益

種別	金額 (千円)
運営費交付金収益	2,138,122
受託研究等収益	55,004
受託事業等収益	412
寄付金収益	5,089
その他	239,502
収益計	2,438,131

業務損益

■ 外部資金等受入額 (2007年度)

区分	金額 (千円)
産学連携等研究費	55,005
科学研究費補助金	94,214
奨学寄附金	2,500

※産学連携等研究費は、受託研究及び共同研究経費を合算したものです。

● 運営組織と役割 (2009年4月1日現在)

■ 運営会議 研究所の人事、事業計画、その他管理運営に関する重要事項について審議します。

岩坂泰信	金沢大学フロンティアサイエンス機構特任教授	秋道智彌	総合地球環境学研究所副所長／研究推進戦略センター長
上田 博	名古屋大学地球水循環研究センター長	阿部健一	総合地球環境学研究所プログラム主幹
白幡洋三郎	国際日本文化研究センター研究部教授	佐藤洋一郎	総合地球環境学研究所副所長／プログラム主幹
藤井理行	国立極地研究所長	谷口真人	総合地球環境学研究所プログラム主幹
古澤 巖	鳥取環境大学長	湯本貴和	総合地球環境学研究所プログラム主幹
横山俊夫	京都大学大学院地球環境学学術教授	渡邊紹裕	総合地球環境学研究所プログラム主幹
米本昌平	東京大学先端科学技術研究センター産学官連携研究員・特任教授		
鷺田清一	大阪大学総長		

■ 研究プロジェクト評価委員会 研究所の特定共同研究に関し、必要な事項を専門的に調査審議します。

(国内委員)	(海外委員)
岩坂泰信	BELLWOOD, Peter; Professor, School of Archaeology and Anthropology, The Australian National University, Australia
植田和弘	FU, Congbin (符 添斌); Director, START Regional Center for Temperate East Asia, China; Research Professor, Institute of Atmospheric Physics (IAP)/Chinese Academy of Sciences (CAS), China
大塚柳太郎	国立環境研究所参与
田中耕司	京都大学地域研究統合情報センター長
丹羽雅子	奈良女子大学名誉教授
古澤 巖	鳥取環境大学長
山形俊男	東京大学大学院理学系研究科教授
横山俊夫	京都大学大学院地球環境学学術教授
	IKAWA-SMITH, Fumiko (井川史子); Former Associate Vice Principal McGill University, Canada
	LOVEJOY, Thomas E.; President, The H. John Heinz III Center for Science, Economics and the Environment, USA
	OHMURA, Atsumu (大村 稔); Professor, Swiss Federal Institute of Technology, Switzerland

■ 連絡調整会議 研究所の円滑な運営を図るため、研究所の管理運営に関する重要事項を審議します。

立本成文	所長	谷口真人	プログラム主幹
秋道智彌	副所長／研究推進戦略センター長	湯本貴和	プログラム主幹
佐藤洋一郎	副所長／プログラム主幹	渡邊紹裕	プログラム主幹
阿部健一	プログラム主幹	佐藤兆昭	管理部長

※その他、研究所の業務に関して必要な事項を専門的に審議し、また、実施に当たるため、各種委員会を設置しています。

● スタッフ (2009年4月1日現在)

■ 所長	立本成文	■ 顧問	日高敏隆
■ 副所長	秋道智彌 (企画調整担当)	■ 名誉教授 (称号授与年月日)	
	佐藤洋一郎 (研究担当)	中西正己 (2003年4月1日)	中尾正義 (2008年4月1日)
		和田英太郎 (2004年8月1日)	福島義宏 (2008年4月1日)
		日高敏隆 (2007年4月1日)	

管理部 ■ 部長 佐藤兆昭

■ 総務課	■ 財務課	■ 研究協力課			
課長	植村 剛	課長	南部真一	課長	佐良俊久
課長補佐	八木清隆	課長補佐	中久保隆雄	課長補佐	石田弥太郎
総務係	係長 常深裕之 係員 石地啓介	司計係	係長 奥村 東 係員 矢野哲也	研究協力係	係長 大井俊二 係員 道山智子
人事係	係長 谷川喜隆 主任 稲葉茂雄 係員 中野裕代 中大路悠 (研修)	施設マネジメント係	係長 西川知延	国際交流係	係長 尾形里加
企画室	室長 八木清隆 (併任)	経理・研究サービス室	室長 中久保隆雄 (併任)	研究推進戦略センター支援室	室長 石田弥太郎 (併任)
企画評価係	係長 進藤健司 主任 澁谷一郎	経理・研究サービス係	係長 八木 司 主任 山林伸子	研究推進係	係長 小野 太
情報係	係長 進藤健司 (併任)				

研究部

■ プログラム主幹

阿部健一 (併任)
佐藤洋一郎 (併任)
谷口真人 (併任)
湯本貴和 (併任)
渡邊紹裕 (併任)

■ 教授

井上 元 (大気化学)
長田俊樹 (言語学)
川端善一郎 (微生物生態学)
木下鉄矢 (中国思想史)
佐藤洋一郎 (植物遺伝学)
谷口真人 (水文学)
村松 伸 (建築史・都市史)
門司和彦 (人類生態学)
山村則男 (数理生態学)
湯本貴和 (植物生態学)

■ 准教授

内山純蔵 (先史人類学)
梅津千恵子 (環境資源経済学)
奥宮清人 (フィールド医学)
窪田順平 (森林水文学)
酒井章子 (植物生態学)
白岩孝行 (雪氷学)
縄田浩志 (文化人類学)

■ 助教

遠藤崇浩 (政治学)
加藤雄三 (法史学)
谷田貝亜紀代 (気象・気候学)

■ 客員教授

家田 修 (東欧地域研究・東欧経済史)
宇野隆夫 (考古学)
後藤多聞 (中国史・ドキュメンタリー制作)
柴山 守 (地域情報学・人文情報学)
須田一弘 (生態人類学)
光谷拓実 (年輪年代学)

■ 客員准教授

石川智士 (保全生態学・国際水産開発学)
佐藤雅志 (遺伝生態学)

■ 招へい外国人研究員

BOERZHJIN, Wuyunbilige (中国史)
FULLER, Dorian (植物考古学)
BALLANTYNE, Rachel Mary (生物考古学)
POPOV, Alexander Nikolaevich (考古学)

■ プロジェクト上級研究員

大西健夫 (水文学)
大西正幸 (言語類型論)
久米 崇 (土壌水文学)
鞍田 崇 (哲学)
酒井 徹 (地球科学)
承 志 (東洋史学)
長谷川成明 (理論生態学)
藤原潤子 (文化人類学)
楨林啓介 (考古学)
源 利文 (分子生態学)
森 若葉 (言語学・シュメール学)
LEKPRICHAKUL, Thamana (医療経済学)
ZEBALLOS VELARDE, Carlos Renzo (都市環境計画)

■ プロジェクト研究員

石丸恵利子 (動物考古学)
石本雄大 (生態人類学)
石山 俊 (文化人類学)
市川智生 (医療史)
一條知昭 (環境微生物学)
岩谷洋史 (文化人類学)
上杉彰紀 (考古学)
内井喜美子 (微生物生態学)
岡本雅博 (地域研究・人類学)
川瀬大樹 (植物生態学)
岸本圭子 (昆虫生態学)
金 憲淑 (大気モデル)
木村栄美 (日本文化史・喫茶文化史)
小泉 都 (民俗植物学)
小坂康之 (民族植物学)
小林菜花子 (森林気象)
蔡 国喜 (社会医療調査)
坂本龍太 (国際保健学)
佐々木尚子 (植生史学)
瀬尾明弘 (植物分類学)
高木麻由美 (歴史文学)

田中克典 (植物遺伝学)
辻 貴志 (生態人類学)
辻野 亮 (植物生態学)
寺村裕史 (考古学)
東城文柄 (地域研究・林学)
友川 幸 (健康教育学)
豊田知世 (開発経済学)
中田聡史 (物理海洋学)
中村 大 (日欧考古学)
中村 亮 (文化人類学)
奈良間千之 (自然地理学)
西本 大 (社会人類学)
花松泰倫 (国際法)
林 憲吾 (東南アジア都市史・建築史)
細谷 葵 (植物考古学)
本庄三恵 (微生物生態学)
前川 愛 (文化人類学)
宮寄英寿 (土壌学)
村上由美子 (考古学)
安富奈津子 (気象・気候学)
山中裕樹 (水域生態学)
山本圭香 (衛星測地学)
渡邊三津子 (自然地理学)

■ プロジェクト研究推進支援員

石井 夢 小堀真佐子
伊吹直美 清水宏美
内門 恵 園田 建
遠藤 仁 高橋敬子
大谷めぐみ 濱田 篤
岡本高子 細井まゆみ
沖田弘子 前田真弓
賈 瑞晨 松森智彦
嘉村 望 武藤千秋
川口珠生 余田 眞
北村直子

■ 地域研究推進センター研究員／ 中国環境問題研究拠点研究員

松永光平 (地理学)

研究推進戦略センター ■ センター長

秋道智彌 (併任)

■ 教授

秋道智彌 (生態人類学)
阿部健一 (相関地域学) / 成果公開・広報部門長
齋藤清明 (ジャーナリズム)
中野孝教 (同位体地球環境学) / 研究推進部門長
渡邊紹裕 (農業土木学) / 戦略策定部門長

■ 准教授

関野 樹 (情報学)

■ 助教

神松幸弘 (動物生態学)
NILES, Daniel (地理学)

交通案内



■ JR京都駅からお越しの場合

地下鉄烏丸線「国際会館」駅下車。3番または4-1番出口から国際会館前バス乗り場「2」より京都バス40系統「京都産業大学ゆき」または50系統「北稜高校・京都精華大学・地球研前經由市原ゆき」に乗車(約6分)し、「地球研前」下車。

■ 京阪沿線からお越しの場合

京阪本線「出町柳」駅で叡山電鉄鞍馬線に乗換えて「二軒茶屋」駅下車、徒歩10分。

■ 車・タクシーでお越しの場合

地下鉄烏丸線「国際会館」駅から「二軒茶屋」方面へ(約5分)。

